

移動等円滑化取組計画書

令和元年12月2日

住 所 山口県下関市羽山町3番3号

事業者名 サンデン交通株式会社
代表者名（役職名及び氏名）
代表取締役社長 河内 秀夫

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 車両等の整備に関する事項

- ・当社の2018年度末におけるノンステップバスの導入率は61.5%である。車両の更新を踏まえてノンステップバスの導入を推進し、2020年度末までに70%以上の乗合車両をノンステップバスに置き換える。
- ・当社の高速道路を経由する路線では、バリアフリー化した車両の導入はされていない。リフト付き車両の導入は現状では検討課題であるが、まずは、2列目2席（ドア側）を「優先席」とする。（窓へステッカー貼付、枕カバーでの表記及び案内放送）

(2) 旅客支援、施設改善陳情、乗務員教育に関する事項

1. 旅客のスムーズな乗降に支障がある、道路やバス停上屋等に関する情報を定期的に収集し、関係機関へ継続的に要望をしていく。
2. 乗務員に対し、高齢者疑似体験セット・車椅子を用いた教育の実施。
（初任運転者・事故惹起者に対する指導、各営業所での安全対策会議時など）

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス	・ノンステップバスを14台導入する。(2019年度) (内、新車4台)

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員から安全に関する情報等の収集と関係機関への要望	・旅客のスムーズな乗降に支障がある、道路やバス停上屋等に関する情報を定期的に収集し、関係機関へ継続的に要望をしていく。(2019年度)

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
高齢者乗り方教室の実施	・継続的に自治体と連携し老人会等での乗り方教室の実施。(2019年度)

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員のバリアフリーに対する意識向上	・乗務員を対象とした高齢者疑似体験セット・車椅子を用いた教育の実施。(2019年度)

III 移動等円滑化の促進のためIIと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・メールや電話で寄せられる利用者の意見・要望を社内で共有し取組の改善に活用する。 ・高齢者乗り方教室を啓発活動により実施団体の拡大に取り組む。
--

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

V その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。